

事務事業名	資源ごみ回収事業		担当	市民生活部 環境課 ごみ減量係	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	施策名	3	循環型社会の構築
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	資源回収日数		日	192	
	報奨金及び売上還元金交付額		千円	6,137	
	負担金交付額		千円	16,875	
事業概要	・各自治会に、資源ごみ回収報奨金3円/kgと売上還元金1.5円/kgを、真岡地区のみ真岡資源回収事業協同組合に資源〔2〕回収業務を依頼し、運営経費から売却代金を差し引いた差額を負担金（赤字補填）として交付している。 ・交付対象品目：資源〔1〕（空き缶、ペットボトル）、資源〔2〕（新聞、雑誌・雑紙、段ボール、牛乳パック、古着・古布、生きピン）				
5 年度 実績・成果・課題	・新聞販売店の自主回収やスーパーなどの民間の資源物回収サービスの利用の増加により、地域の資源ステーションでの回収量の減少が続いている。そのため、地域への報償金交付額が減少している。 ・資源物の売却単価が昨年に引き続き高値での取引であったため、資源組合への負担金は減少した。 ・市場状況による売却単価の変化で、真岡市資源回収事業協同組合への負担金が変わってくるため、資源物の売却単価の状況を注視していく必要がある。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・引き続き報奨金、還元金の交付を継続し、また民間（資源回収ボックス設置店舗など）との連携を図り、白色トレイなどの回収先の情報提供などを実施し、更なるゴミの減量化及び資源化の徹底を図っていく。 ・資源物の売却単価の変化、収集量の増減で、真岡市資源回収強度組合への負担金が変わってくるので、売却単価及び収集量について、注視していく。				